

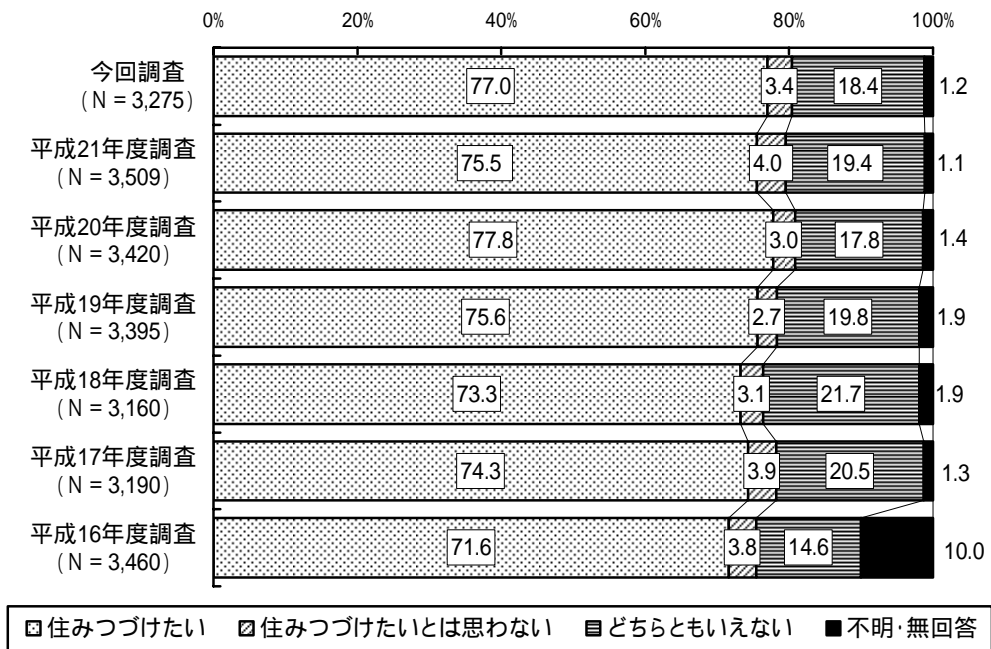
1. 県政全体に関する満足度

(1) 定住意向

問5 あなたは、これからも滋賀県に住みつづけたいと思われませんか。(は1つだけ)

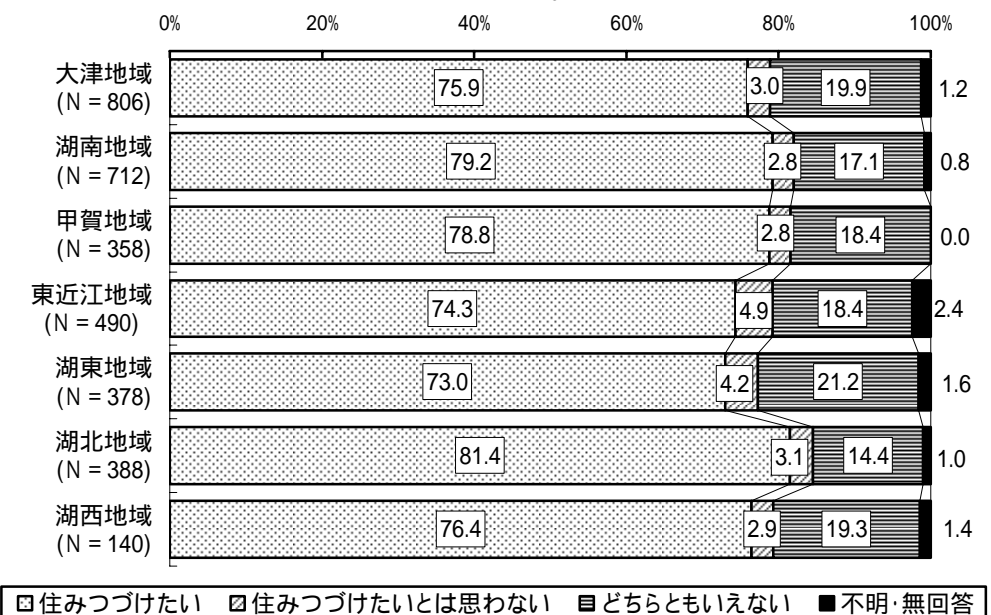
「住みつづけたい」は全体の77.0%

「住みつづけたい」が77.0%で最も高く、平成21年度調査と比較すると1.5ポイント高くなっている。「住みつづけたいとは思わない」は3.4%で平成21年度調査と比較すると0.6ポイント低くなっている。また、「どちらともいえない」は18.4%で、平成21年度調査と比較すると、1.0ポイント低くなっている。



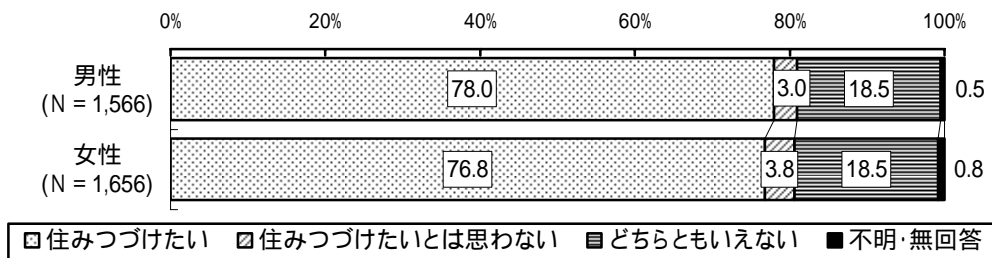
【地域別】

いずれの地域においても「住みつづけたい」が7割を超えており、湖北地域で81.4%と他の地域に比べ最も高く、湖東地域で73.0%と最も低くなっている。また、「住みつづけたいとは思わない」は東近江地域で4.9%と最も高くなっている。



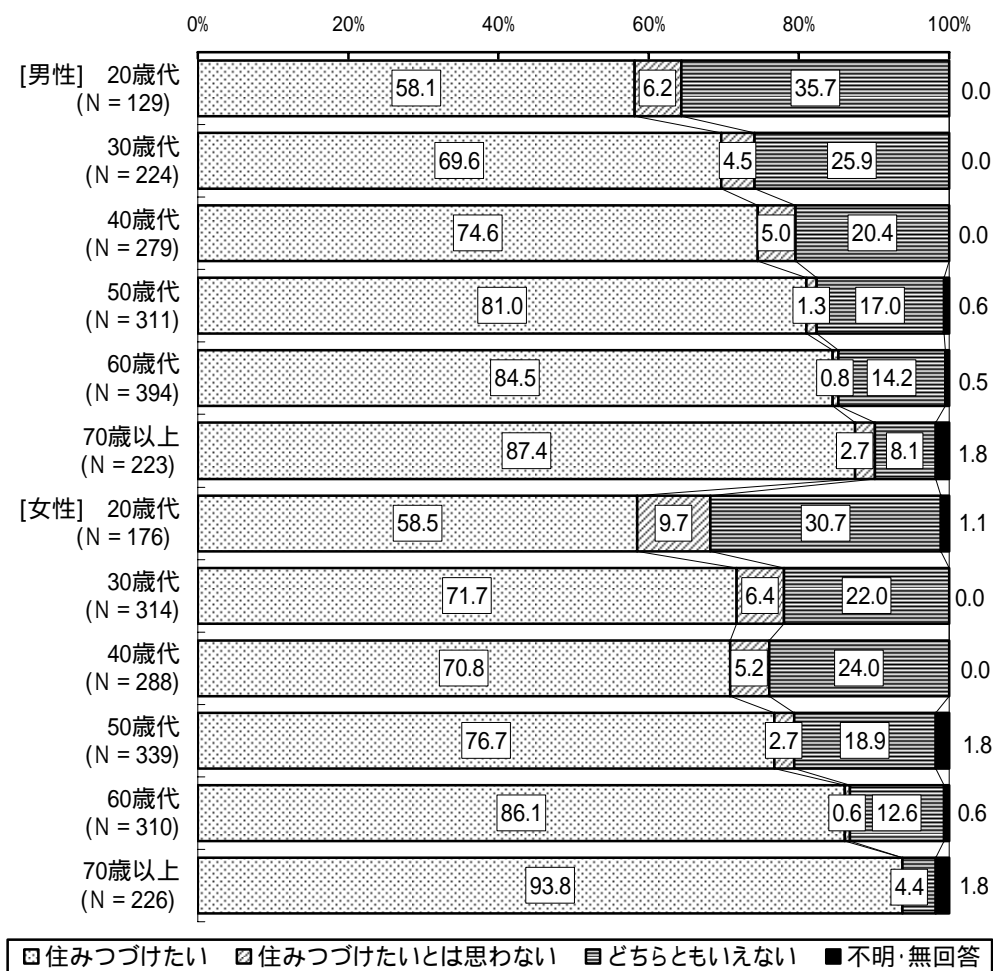
【性別】

男女とも「住み続けたい」が最も高く、男性が78.0%、女性が76.8%となっている。



【性・年代別】

「住み続けたい」は、男女とも70歳以上で最も高く、男性(87.4%)に比べ女性(93.8%)の方が6.4ポイント高くなっている。一方、最も低い20歳代では男女とも5割台となっており、男性が58.1%、女性が58.5%となっている。男性は年代が上がるにつれ、「住み続けたい」割合が高くなる傾向がみられる。

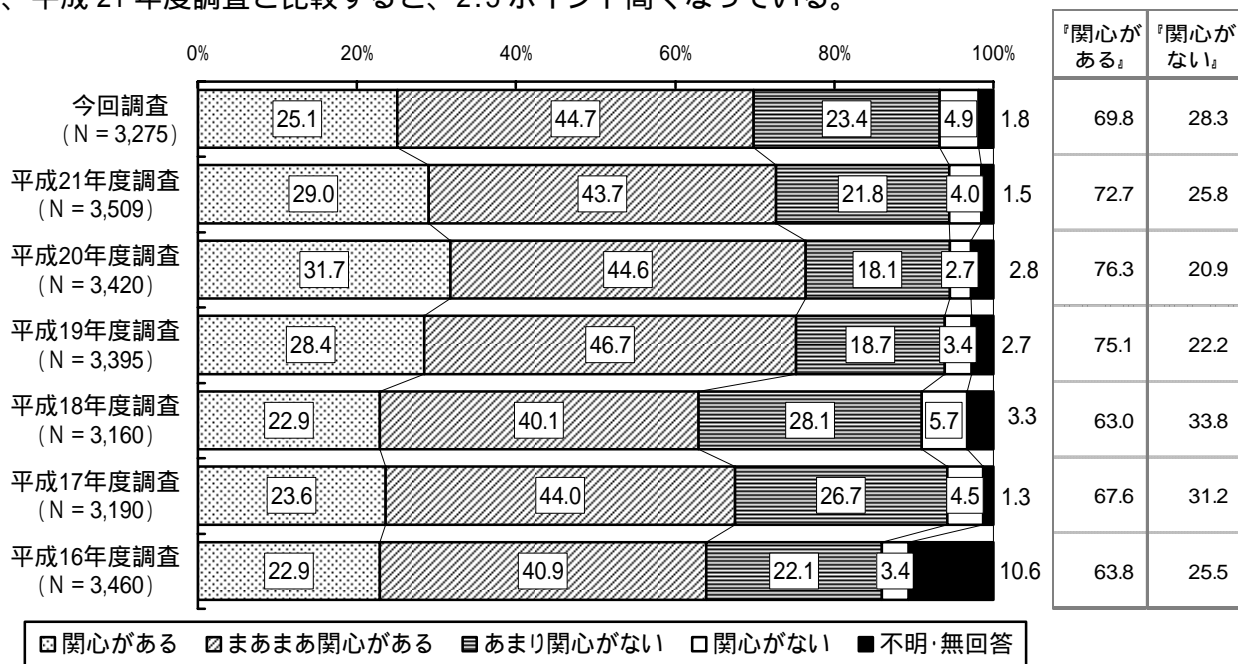


(2) 県政への関心度

問6 あなたは、県政に関心をお持ちですか。(は1つだけ)

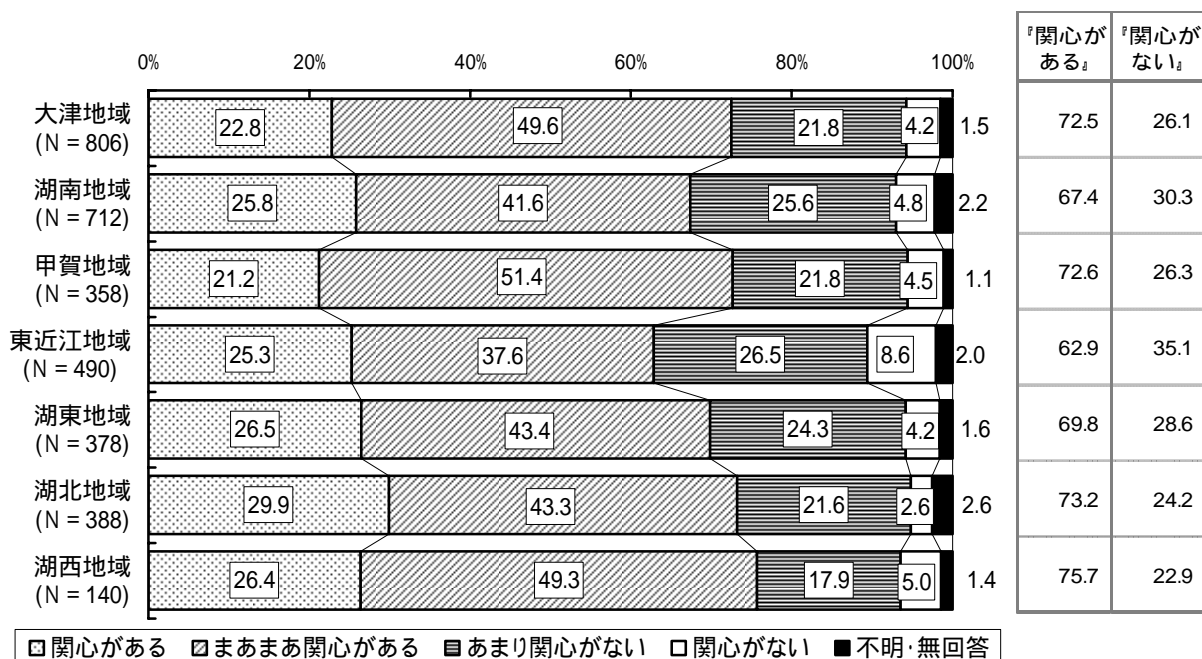
県政への関心度は69.8%

「関心がある」が25.1%、「まあまあ関心がある」が44.7%となり、『関心がある』（「関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計）は69.8%で、平成21年度調査と比較すると、2.9ポイント低くなっている。『関心がない』（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）は28.3%で、平成21年度調査と比較すると、2.5ポイント高くなっている。



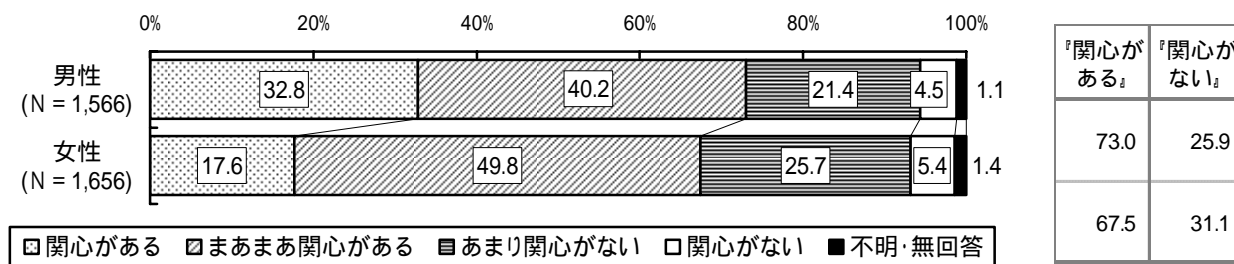
【地域別】

いずれの地域においても「まあまあ関心がある」が最も高い。『関心がある』は湖西地域で75.7%と最も高く、『関心がない』は東近江地域で35.1%と最も高くなっている。



【性別】

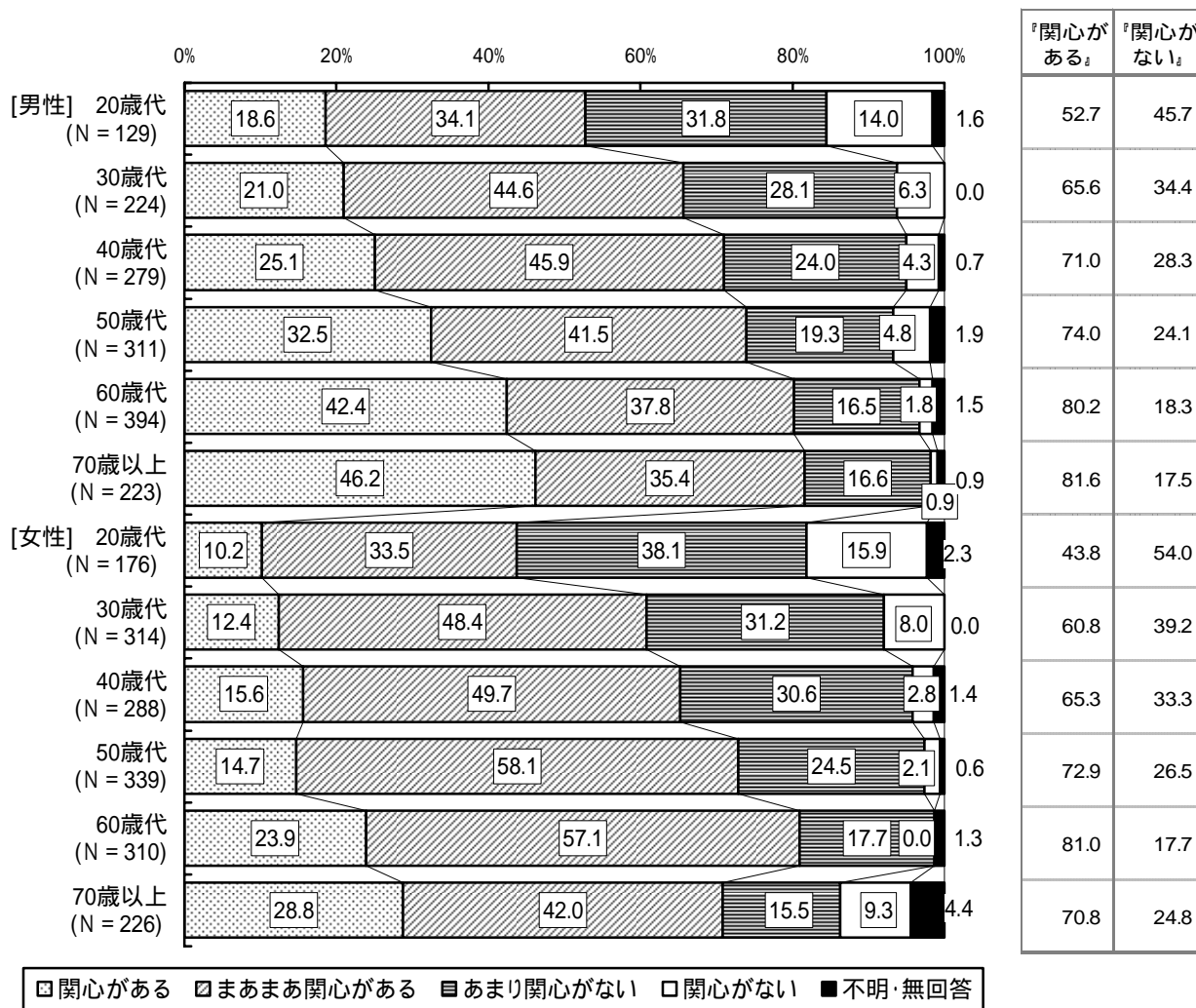
「関心がある」は男性で 32.8%、女性で 17.6%となっており、男性が女性より 15.2 ポイント高い。『関心がある』は、男性（73.0%）が女性（67.5%）より 5.5 ポイント高い。



【性・年代別】

「関心がある」は、男性では年代が上がるにつれ高くなっており、最も高い 70 歳以上で 46.2% となっている。また、いずれの年代においても男性が女性を上回っている。

『関心がある』は男性では 70 歳以上で 81.6%、女性では 60 歳代で 81.0%とそれぞれ最も高い。男性では年代が上がるにつれ、その割合が高くなる傾向がみられる。



(3) 県の施策に対する満足度

問7 現在の県の施策に対してあなたはどの程度満足していますか。1～27のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中からあなたの満足度合いに最も近いものを選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

下表に示す27項目について、『満足度』を調査した。

1. 「満足」
2. 「どちらかといえば満足」
3. 「どちらともいえない」
4. 「どちらかといえば不満」
5. 「不満」
6. 「わからない」

を選択肢とし、本報告書では『満足度』(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)と『不満度』(「どちらかといえば不満」と「不満」の合計)に着目して、分析を行った。

県の施策(27項目)

暮 ら し	1.健康づくりと介護予防の推進
	2.医療、介護等提供体制の整備
	3.食の安全と地産地消の推進
	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出
	5.ビジネス人材の育成支援
	6.安全・快適な居住環境の整備
	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり
	8.防災、防犯の取組み
	9.協働によるまちづくり、地域づくりの推進
	10.人権尊重の社会づくり
	11.男女共同参画社会の実現
	12.外国人と地域住民が共に暮らす地域づくりの推進
	13.子どもが健やかに育つ環境づくり
	14.人を育む学校、社会環境づくり
	15.地域における教育環境の整備
	16.個性ある地域文化の構築
産 業 ・ 経 済	17.競争力のある産業の育成
	18.地域を支える産業の育成
	19.環境と共生した農林水産業の振興
環 境	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全
	21.地球温暖化防止や資源循環等持続可能な社会づくり
	22.野生動植物の保護や生態系の修復
	23.農地森林の持つ多面的機能の維持・増進
県 土	24.交通基盤や都市施設の整備
	25.災害に備えた基盤づくり
	26.美しく魅力ある地域づくりの推進
	27.高度情報化社会の形成

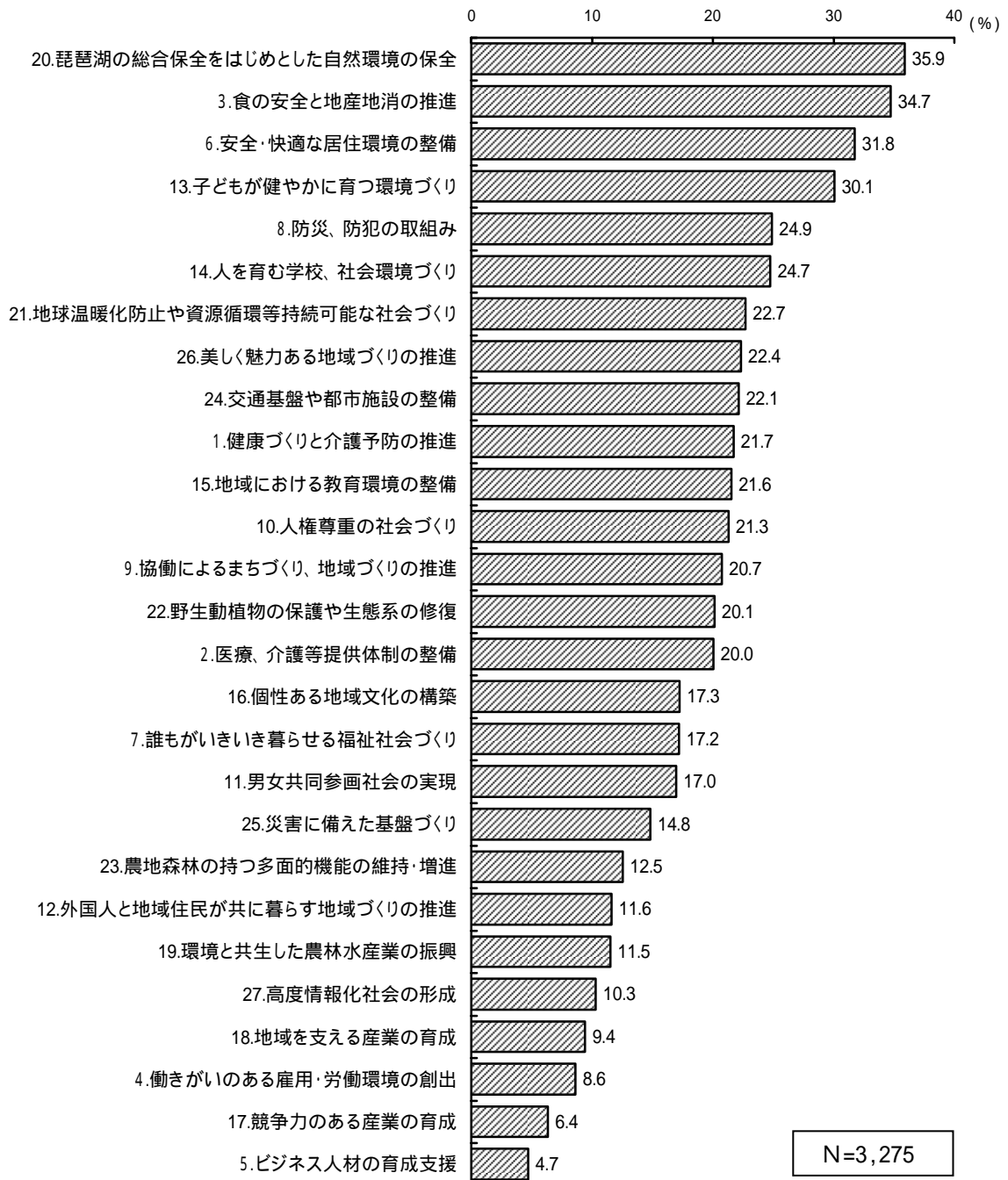
満足度の高い施策

満足度の最も高い施策は「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」で35.9%

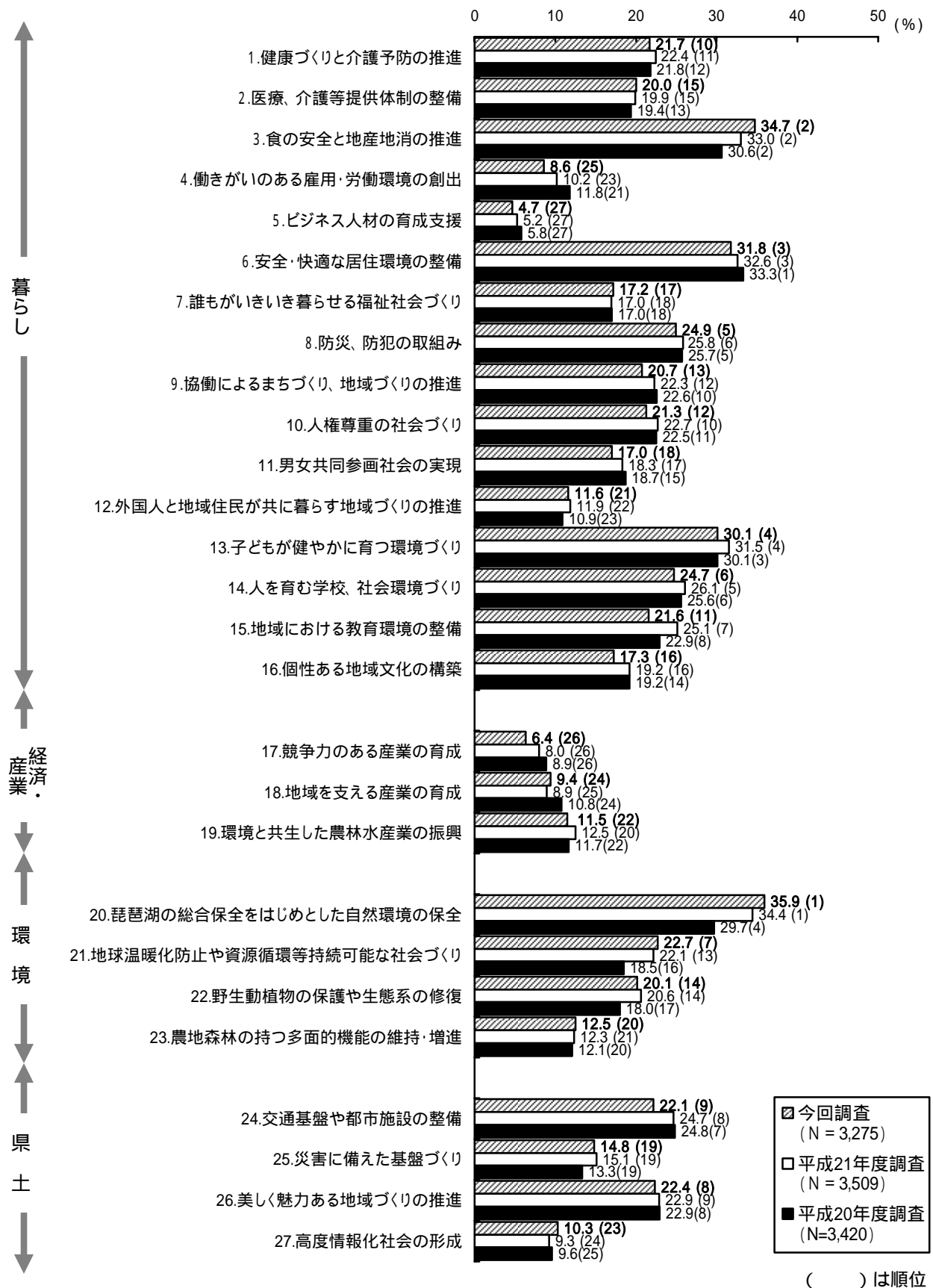
『満足度』の最も高い施策は、「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」で35.9%となっており、以下、「食の安全と地産地消の推進」(34.7%)、「安全・快適な居住環境の整備」(31.8%)、「子どもが健やかに育つ環境づくり」(30.1%)が続いている。

満足度の上位10項目の内訳は、暮らしの分野から6項目、環境の分野から2項目、県土の分野から2項目となっている。

満足度



平成 21 年度調査と比較すると、「食の安全と地産地消の推進」が 1.7 ポイント高くなり、前年度と同様 2 位となっている。また、「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」が 1.5 ポイント、「高度情報化社会の形成」が 1.0 ポイント高くなっている。



【地域別】

大津・湖南・甲賀・湖東地域では「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」、東近江・湖北地域では「食の安全と地産地消の推進」、湖西地域では「子どもが健やかに育つ環境づくり」がそれぞれ1位となっている。このほか、「安全・快適な居住環境の整備」が大津・湖北地域で2位、湖南・甲賀・東近江・湖東地域で3位、湖西地域で4位となっている。

単位 (%)						
[満足度]	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
総数 (N=3,275)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 35.9	3. 食の安全と地産地消の推進 34.7	6. 安全・快適な居住環境の整備 31.8	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 30.1	8. 防災、防犯の取組み 24.9	
【地域別】	大津地域 (N=806)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 40.4	6. 安全・快適な居住環境の整備 37.5	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 33.5	8. 防災、防犯の取組み 24.1	
				3. 食の安全と地産地消の推進 33.3	14. 人を育む学校、社会環境づくり 24.1	
	湖南地域 (N=712)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 34.0	3. 食の安全と地産地消の推進 32.6	6. 安全・快適な居住環境の整備 30.6	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 28.1	8. 防災、防犯の取組み 25.3
	甲賀地域 (N=358)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 37.4	3. 食の安全と地産地消の推進 35.2	6. 安全・快適な居住環境の整備 33.0	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 30.7	8. 防災、防犯の取組み 29.6
	東近江地域 (N=490)	3. 食の安全と地産地消の推進 37.6	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 34.7	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 28.2	6. 安全・快適な居住環境の整備 26.5	14. 人を育む学校、社会環境づくり 26.5
	湖東地域 (N=378)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 37.0	3. 食の安全と地産地消の推進 33.3	6. 安全・快適な居住環境の整備 28.6	14. 人を育む学校、社会環境づくり 24.9	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 24.3
	湖北地域 (N=388)	3. 食の安全と地産地消の推進 39.2	6. 安全・快適な居住環境の整備 32.5	1. 健康づくりと介護予防の推進 32.0	8. 防災、防犯の取組み 32.0	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 32.0
	湖西地域 (N=140)	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 36.4	3. 食の安全と地産地消の推進 35.0	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 32.1	6. 安全・快適な居住環境の整備 27.1	8. 防災、防犯の取組み 27.1
				14. 人を育む学校、社会環境づくり 27.1		

上記の太線枠の部分は、同率同位を示している。次頁以降も同じ。

【性別】

男性では「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」、女性では「食の安全と地産地消の推進」がそれぞれ1位となっている。

単位 (%)

[満足度]		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【性別】	男性 (N=1566)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 38.1	6. 安全・快適な居住環境の整備 31.8	3. 食の安全と地産地消の推進 30.6	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 29.4	8. 防災、防犯の取組み 25.7
	女性 (N=1656)	3. 食の安全と地産地消の推進 39.1	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 34.5	6. 安全・快適な居住環境の整備 32.4	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 31.3	14. 人を育む学校、社会環境づくり 25.2

【性・年代別】

男性の20～60歳代では「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」が、70歳以上では「安全・快適な居住環境の整備」がそれぞれ1位となっている。

単位 (%)

[満足度]		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	20歳代 (N=129)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 41.1	6. 安全・快適な居住環境の整備 35.7	3. 食の安全と地産地消の推進 33.3	21. 地球温暖化防止や資源循環等持続可能な社会づくり 29.5	22. 野生動植物の保護や生態系の修復 29.5
	30歳代 (N=224)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 36.6	3. 食の安全と地産地消の推進 33.5	6. 安全・快適な居住環境の整備 30.8	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 24.1	14. 人を育む学校、社会環境づくり 22.3
	40歳代 (N=279)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 39.8	3. 食の安全と地産地消の推進 34.4	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 28.7	6. 安全・快適な居住環境の整備 26.5	24. 交通基盤や都市施設の整備 25.1
	50歳代 (N=311)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 35.4	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 28.6	8. 防災、防犯の取組み 27.7	6. 安全・快適な居住環境の整備 27.3	10. 人権尊重の社会づくり 25.4
						14. 人を育む学校、社会環境づくり 25.4
	60歳代 (N=394)	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 39.6	6. 安全・快適な居住環境の整備 31.7	3. 食の安全と地産地消の推進 29.9	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 29.7	8. 防災、防犯の取組み 26.6
	70歳以上 (N=223)	6. 安全・快適な居住環境の整備 44.4	13. 子どもが健やかに育つ環境づくり 39.5	2. 医療、介護等提供体制の整備 38.1	20. 琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 36.8	8. 防災、防犯の取組み 35.9

女性の20～50歳代では「食の安全と地産地消の推進」が、60歳代では「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」が、70歳以上では「健康づくりと介護予防の推進」がそれぞれ1位となっている。

単位（％）

[満足度]	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
女性	20歳代 (N=176)	3.食の安全と地産地消の推進 43.8	6.安全・快適な居住環境の整備 39.8	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 37.5	24.交通基盤や都市施設の整備 26.7	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 25.6 26.美しく魅力ある地域づくりの推進 25.6
	30歳代 (N=314)	3.食の安全と地産地消の推進 44.3	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 39.5	6.安全・快適な居住環境の整備 32.2	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 30.6	21.地球温暖化防止や資源循環等持続可能な社会づくり 24.5
	40歳代 (N=288)	3.食の安全と地産地消の推進 40.3	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 34.4	6.安全・快適な居住環境の整備 31.6	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 30.6	14.人を育む学校、社会環境づくり 27.4
	50歳代 (N=339)	3.食の安全と地産地消の推進 37.5	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 33.0	6.安全・快適な居住環境の整備 31.6	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 28.0	8.防災、防犯の取組み 26.8
	60歳代 (N=310)	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 36.8	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 35.5	3.食の安全と地産地消の推進 33.9	6.安全・快適な居住環境の整備 31.3	14.人を育む学校、社会環境づくり 26.8
	70歳以上 (N=226)	1.健康づくりと介護予防の推進 38.1	3.食の安全と地産地消の推進 37.2	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 32.7	6.安全・快適な居住環境の整備 30.5	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 29.6

【定住意向別】

「住みつづけたい」と回答した人では「食の安全と地産地消の推進」が、「住みつづけたいとは思わない」および「どちらともいえない」と回答した人では、「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」がそれぞれ1位となっている。

単位（％）

[満足度]	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
定住意志	住みつづけたい (N=2523)	3.食の安全と地産地消の推進 37.3	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 37.3	6.安全・快適な居住環境の整備 35.3	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 33.0	8.防災、防犯の取組み 27.5
	住みつづけたいとは思わない (N=110)	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 31.8	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 29.1	3.食の安全と地産地消の推進 23.6	21.地球温暖化防止や資源循環等持続可能な社会づくり 23.6	22.野生動植物の保護や生態系の修復 23.6
	どちらともいえない (N=602)	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 32.6	3.食の安全と地産地消の推進 27.4	6.安全・快適な居住環境の整備 20.4	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 19.4	21.地球温暖化防止や資源循環等持続可能な社会づくり 18.8

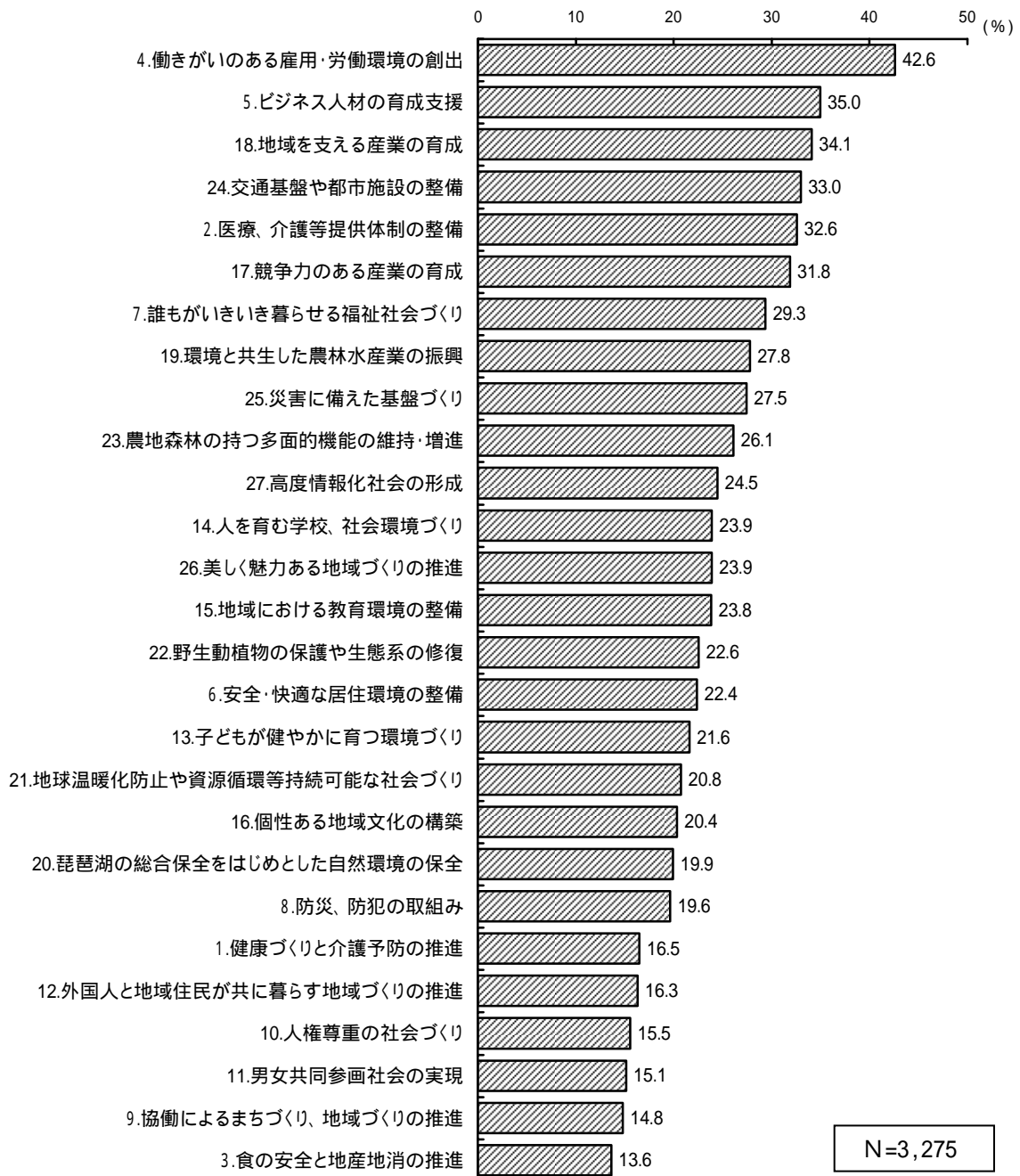
不満度の高い施策

不満度の最も高い施策は「働きがいのある雇用・労働環境の創出」で42.6%

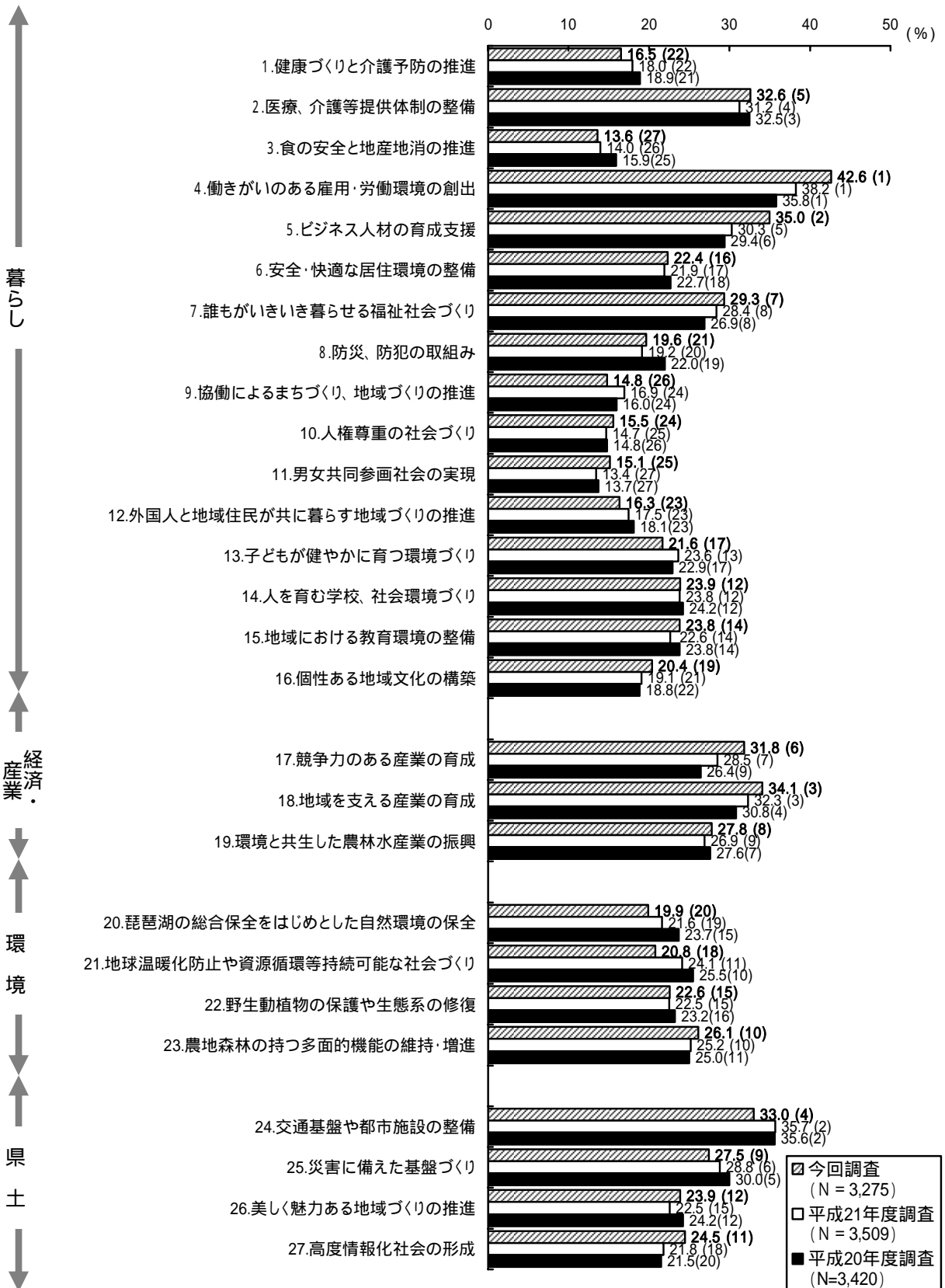
『不満度』の最も高い施策は、「働きがいのある雇用・労働環境の創出」で42.6%となっており、以下、「ビジネス人材の育成支援」(35.0%)、「地域を支える産業の育成」(34.1%)が続いている。

不満度の上位10項目の内訳は、暮らしの分野から4項目、経済・産業の分野から全3項目、環境の分野から1項目、県土の分野から2項目となっている。

不満度



平成 21 年度調査と比較すると、「ビジネス人材の育成支援」は 4.7 ポイント高くなり、前回調査の 5 位から 2 位となった。また、「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が 4.4 ポイント、「競争力のある産業の育成」が 3.3 ポイントと、それぞれ高くなっている。



() は順位

【地域別】

湖東地域を除くいずれの地域においても「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が、湖東地域では「医療、介護等提供体制の整備」がそれぞれ1位となっている。2位は天津・湖南・湖北地域では「ビジネス人材の育成支援」が、甲賀・東近江地域では「医療、介護等提供体制の整備」が、湖東地域では「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が、湖西地域では「地域を支える産業の育成」がそれぞれ続いている。

単位 (%)

[不満度]		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
総数 (N=3,275)		4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 42.6	5.ビジネス人材の育成支援 35.0	18.地域を支える産業の育成 34.1	24.交通基盤や都市施設の整備 33.0	2.医療、介護等提供体制の整備 32.6
【地域別】	大津地域 (N=806)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 38.5	5.ビジネス人材の育成支援 31.3	18.地域を支える産業の育成 31.3	17.競争力のある産業の育成 29.0	24.交通基盤や都市施設の整備 28.8
	湖南地域 (N=712)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 40.2	5.ビジネス人材の育成支援 35.4	18.地域を支える産業の育成 32.3	24.交通基盤や都市施設の整備 31.7	17.競争力のある産業の育成 29.8
	甲賀地域 (N=358)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 46.9	2.医療、介護等提供体制の整備 37.4	5.ビジネス人材の育成支援 35.8	24.交通基盤や都市施設の整備 35.8	17.競争力のある産業の育成 34.1
	東近江地域 (N=490)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 40.0	2.医療、介護等提供体制の整備 37.1	24.交通基盤や都市施設の整備 35.5	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 33.5	18.地域を支える産業の育成 32.2
	湖東地域 (N=378)	2.医療、介護等提供体制の整備 48.1	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 48.1	5.ビジネス人材の育成支援 39.7	18.地域を支える産業の育成 36.0	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 32.8
						24.交通基盤や都市施設の整備 32.8
	湖北地域 (N=388)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 47.9	5.ビジネス人材の育成支援 40.7	18.地域を支える産業の育成 40.7	17.競争力のある産業の育成 38.1	19.環境と共生した農林水産業の振興 36.1
湖西地域 (N=140)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 47.9	18.地域を支える産業の育成 45.7	24.交通基盤や都市施設の整備 42.9	17.競争力のある産業の育成 40.0	5.ビジネス人材の育成支援 36.4	

上記の太線枠の部分は、同率同位を示している。次頁以降も同様。

【性別】

男女とも「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が1位、次いで男性は「地域を支える産業の育成」、女性は「医療、介護等提供体制の整備」が続いている。

単位（％）

[不満度]		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【性別】	男性 (N=1566)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 43.7	18.地域を支える産業の育成 40.4	5.ビジネス人材の育成支援 38.8	17.競争力のある産業の育成 38.5	24.交通基盤や都市施設の整備 36.8
	女性 (N=1656)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 42.1	2.医療、介護等提供体制の整備 32.1	5.ビジネス人材の育成支援 32.1	24.交通基盤や都市施設の整備 29.7	18.地域を支える産業の育成 28.6

【性・年代別】

男性の20歳代、40～60歳代では「働きがいのある雇用・労働環境の創出」、30歳代では「地域を支える産業の育成」、70歳以上では「競争力のある産業の育成」がそれぞれ1位となっている。

単位（％）

[不満度]		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	20歳代 (N=129)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 48.8	5.ビジネス人材の育成支援 48.8	17.競争力のある産業の育成 40.3	15.地域における教育環境の整備 38.0	27.高度情報化社会の形成 38.0
	30歳代 (N=224)	18.地域を支える産業の育成 50.0	17.競争力のある産業の育成 47.3	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 42.9	24.交通基盤や都市施設の整備 42.4	2.医療、介護等提供体制の整備 36.6
	40歳代 (N=279)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 51.3	18.地域を支える産業の育成 48.7	5.ビジネス人材の育成支援 46.6	2.医療、介護等提供体制の整備 45.5	24.交通基盤や都市施設の整備 45.5
	50歳代 (N=311)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 52.4	5.ビジネス人材の育成支援 45.0	18.地域を支える産業の育成 42.8	19.環境と共生した農林水産業の振興 40.5	17.競争力のある産業の育成 39.5
	60歳代 (N=394)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 42.1	18.地域を支える産業の育成 37.8	24.交通基盤や都市施設の整備 35.8	5.ビジネス人材の育成支援 35.5	17.競争力のある産業の育成 34.5
	70歳以上 (N=223)	17.競争力のある産業の育成 26.5	18.地域を支える産業の育成 24.2	24.交通基盤や都市施設の整備 23.3	23.農地森林の持つ多面的機能の維持・増進 22.9	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 22.0
						5.ビジネス人材の育成支援 22.0

女性の20～60歳代では「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が、70歳以上では「交通基盤や都市施設の整備」がそれぞれ1位となっている。

		単位 (%)				
[不満度]		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
女性	20歳代 (N=176)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 55.7	5.ビジネス人材の育成支援 38.6	24.交通基盤や都市施設の整備 34.1	2.医療、介護等提供体制の整備 33.0	17.競争力のある産業の育成 33.0
	30歳代 (N=314)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 48.7	2.医療、介護等提供体制の整備 40.4	5.ビジネス人材の育成支援 38.5	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 36.6	14.人を育む学校、社会環境づくり 36.6
	40歳代 (N=288)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 41.7	2.医療、介護等提供体制の整備 35.8	18.地域を支える産業の育成 33.3	19.環境と共生した農林水産業の振興 31.6	5.ビジネス人材の育成支援 30.9
	50歳代 (N=339)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 47.2	5.ビジネス人材の育成支援 38.9	18.地域を支える産業の育成 36.0	2.医療、介護等提供体制の整備 33.9	24.交通基盤や都市施設の整備 32.2
	60歳代 (N=310)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 39.7	2.医療、介護等提供体制の整備 29.7	5.ビジネス人材の育成支援 28.7	23.農地森林の持つ多面的機能の維持・増進 28.1	24.交通基盤や都市施設の整備 27.4
	70歳以上 (N=226)	24.交通基盤や都市施設の整備 19.9	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 19.0	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 19.0	23.農地森林の持つ多面的機能の維持・増進 18.6	22.野生動植物の保護や生態系の修復 18.1 26.美しく魅力ある地域づくりの推進 18.1

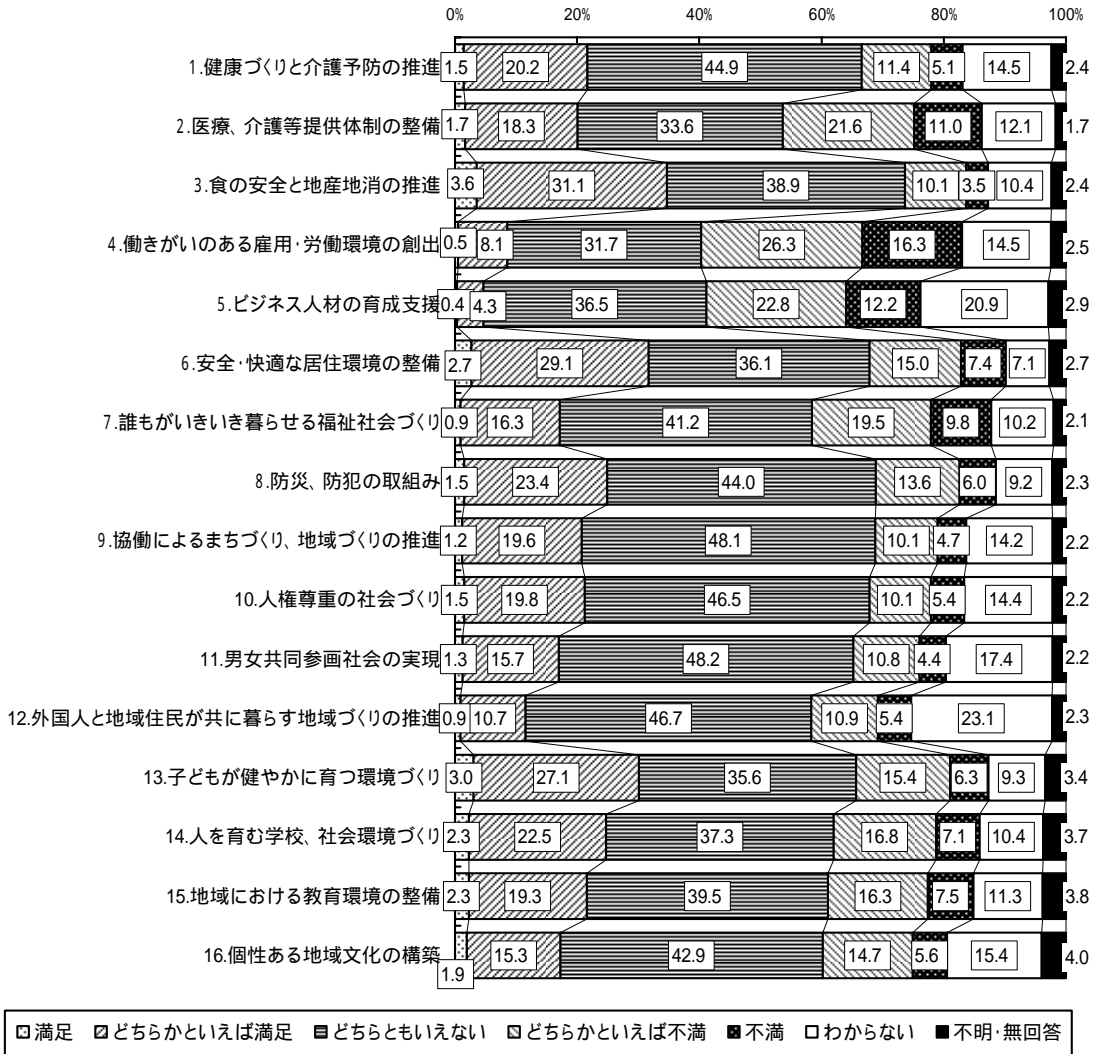
【定住意向別】

「住みつづけたい」、「どちらともいえない」と回答した人では、ともに「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が、「住みつづけたいとは思わない」と回答した人では、「交通基盤や都市施設の整備」がそれぞれ1位となっている。

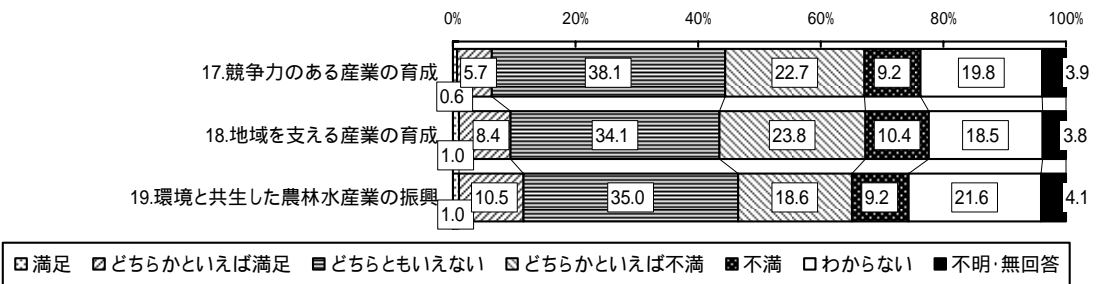
		単位 (%)				
[不満度]		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
定住意志	住みつづけたい (N=2523)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 40.0	18.地域を支える産業の育成 32.8	5.ビジネス人材の育成支援 32.2	17.競争力のある産業の育成 30.7	2.医療、介護等提供体制の整備 30.5
	住みつづけたいとは思わない (N=110)	24.交通基盤や都市施設の整備 49.1	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 48.2	5.ビジネス人材の育成支援 47.3	2.医療、介護等提供体制の整備 43.6	6.安全・快適な居住環境の整備 40.0
	どちらともいえない (N=602)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 54.2	5.ビジネス人材の育成支援 45.7	24.交通基盤や都市施設の整備 42.7	2.医療、介護等提供体制の整備 40.9	18.地域を支える産業の育成 40.4

県政に対する『満足度』、『不満足度』（全体の結果）

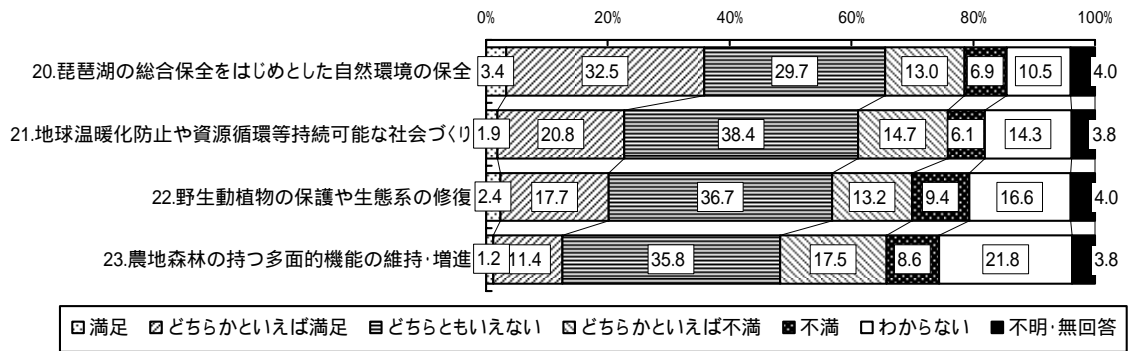
暮らし



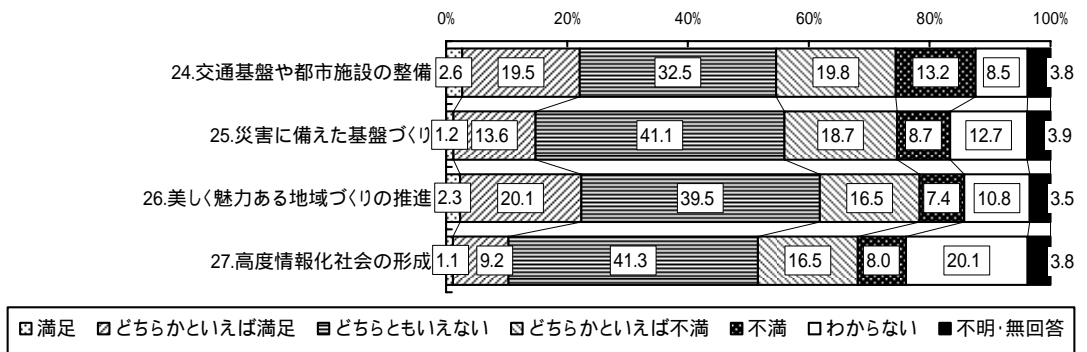
経済・産業



環境



県土



(4)力を入れてほしい施策

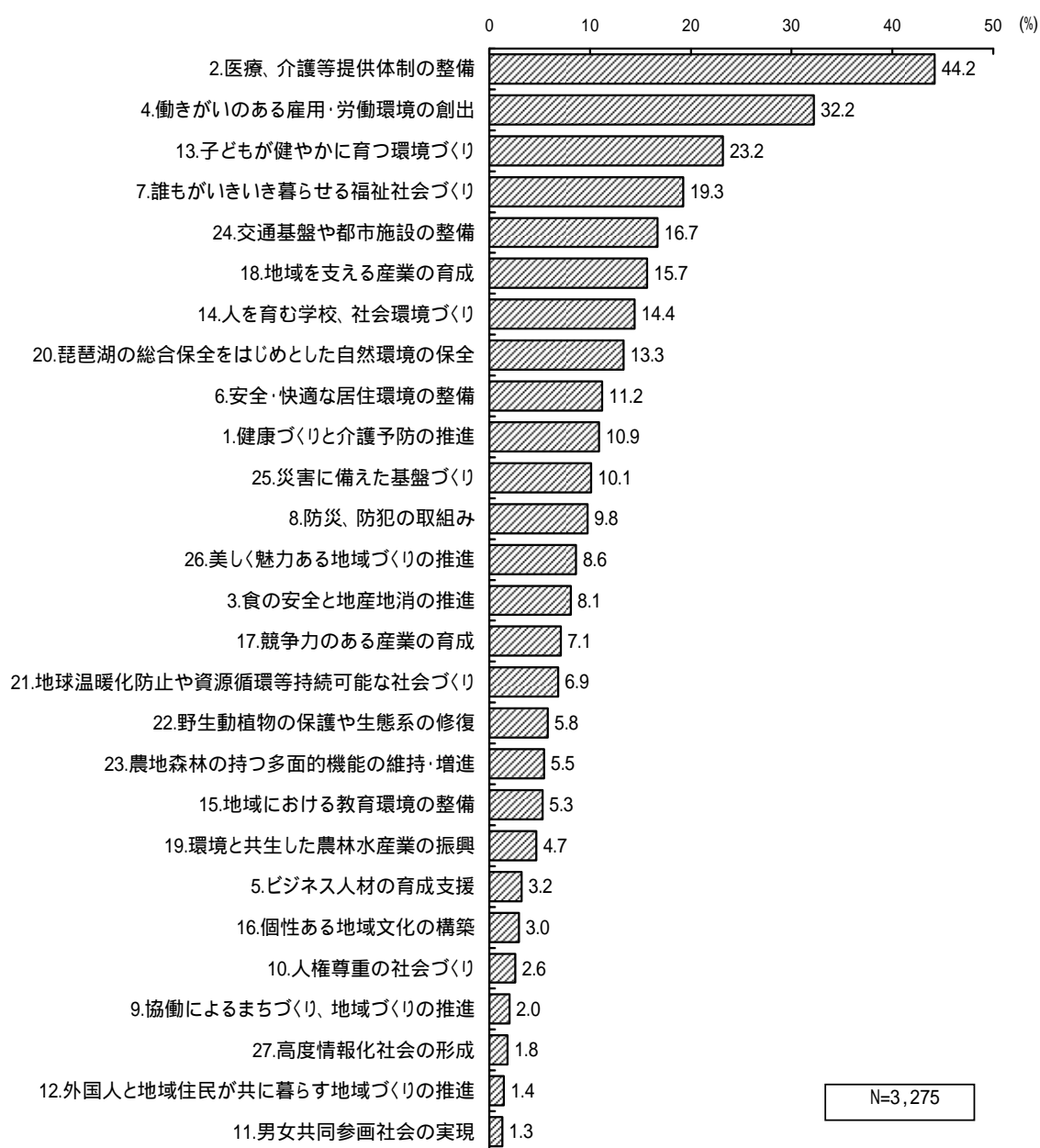
問8 あなたが、いま県の施策で力を入れてほしいと思うことはどんなことですか。前問の内容を参考に、1～27の中から選んでください。(は3つまで)

全体の順位

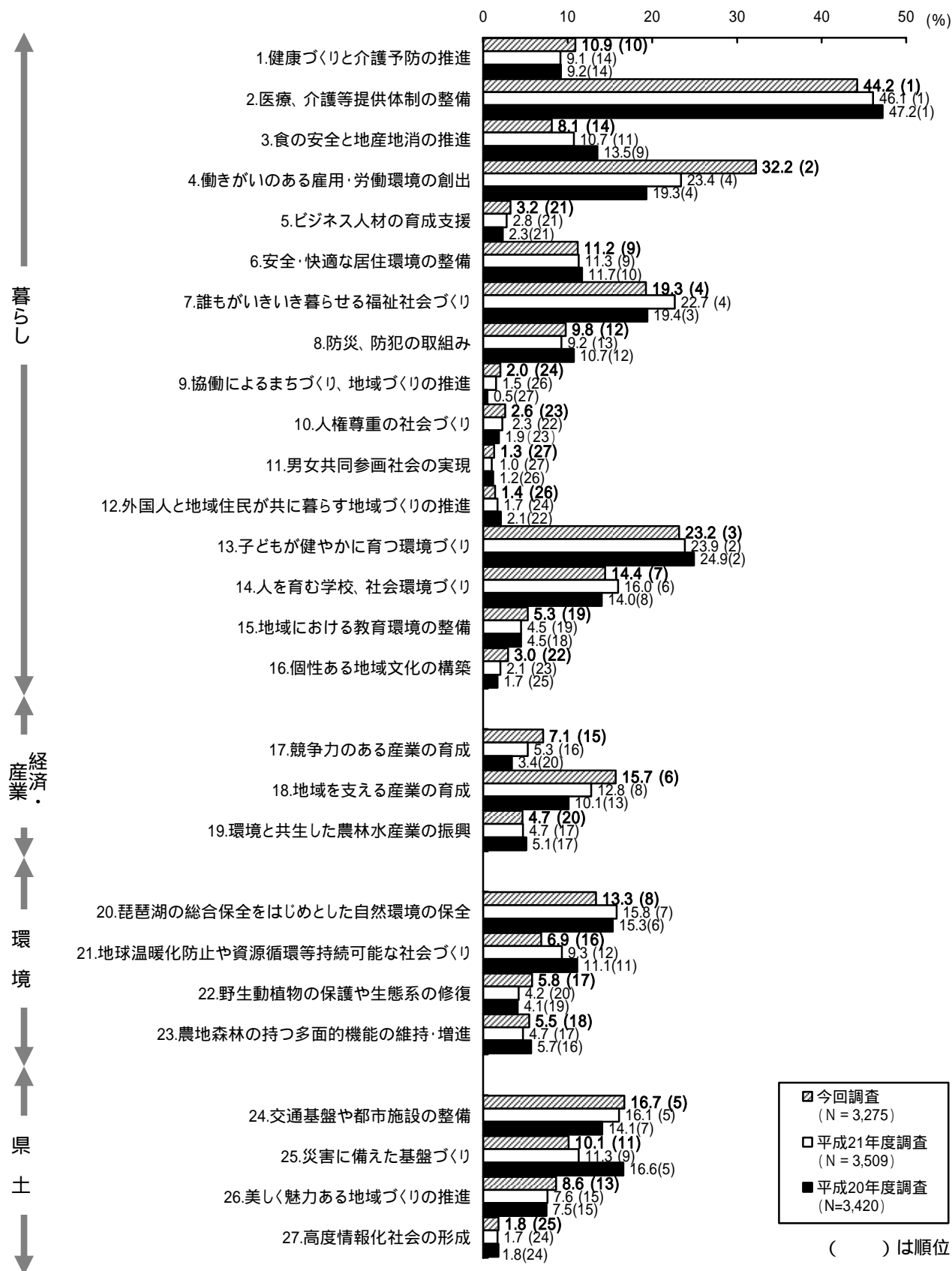
最も力を入れてほしい施策は「医療、介護等提供体制の整備」で44.2%

全体では、「医療、介護等提供体制の整備」が44.2%と最も高くなっており、以下、「働きがいのある雇用・労働環境の創出」(32.2%)、「子どもが健やかに育つ環境づくり」(23.2%)、「誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり」(19.3%)の順となっている。

要望の多い上位10項目の内訳は、暮らしの分野から7項目、経済・産業の分野から1項目、環境の分野から1項目、県土の分野から1項目となっている。

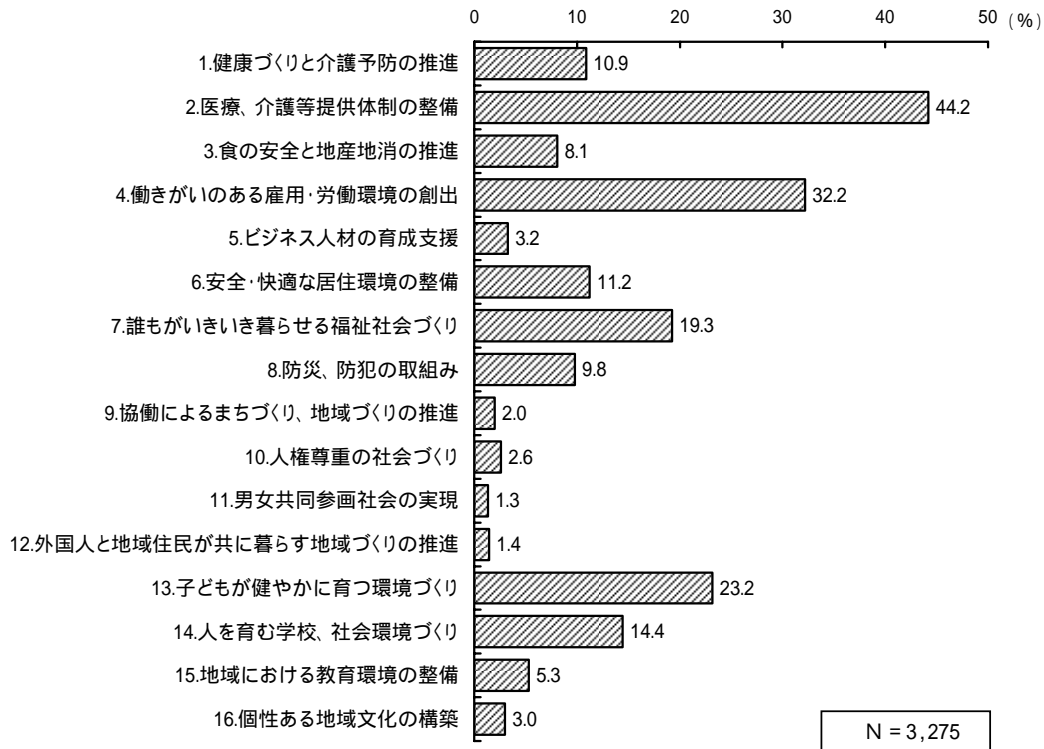


平成 21 年度調査と比較すると、「医療、介護等提供体制の整備」は前回調査と変わらず 1 位で、1.9 ポイント低くなっている。「働きがいのある雇用・労働環境の創出」は 8.8 ポイント高くなり、前回 4 位から 2 位になっている。「地域を支える産業の育成」は 2.9 ポイント高くなっている。



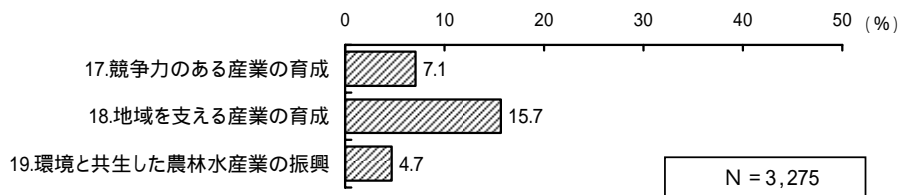
暮らし分野における要望

暮らし分野では、「医療、介護等提供体制の整備」が最も高く 44.2%となっている。以下、「働きがいのある雇用・労働環境の創出」(32.2%)、「子どもが健やかに育つ環境づくり」(23.2%)、「誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり」(19.3%)の順となっている。



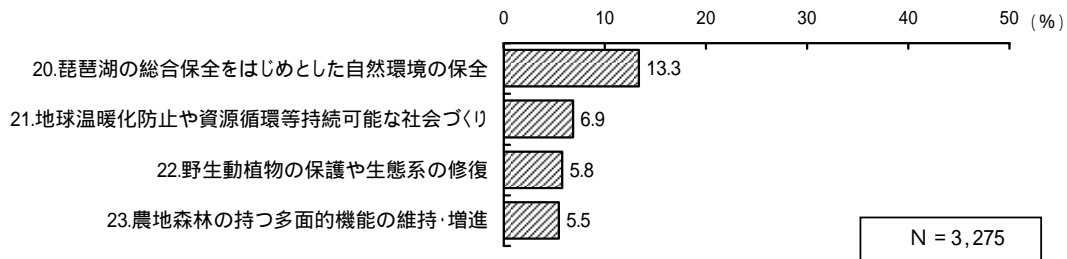
経済・産業分野における要望

経済・産業分野では、「地域を支える産業の育成」が 15.7%と最も高い。



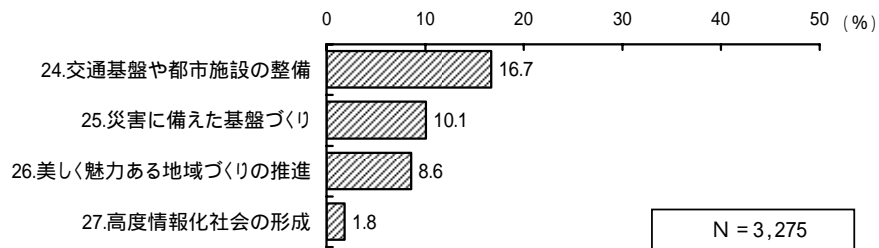
環境分野における要望

環境分野では、「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」が13.3%と最も高く、以下、「地球温暖化防止や資源循環等持続可能な社会づくり」(6.9%)、「野生動植物の保護や生態系の修復」(5.8%)が続いている。



県土分野における要望

県土分野では、「交通基盤や都市施設の整備」が16.7%と最も高く、以下、「災害に備えた基盤づくり」(10.1%)、「美しく魅力ある地域づくりの推進」(8.6%)が続いている。



【地域別】

いずれの地域においても「医療、介護等提供体制の整備」が1位、「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が2位となっている。

単位（％）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
総数 (N=3,275)	2.医療、介護等提供体制の整備 44.2	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 32.2	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 23.2	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 19.3	24.交通基盤や都市施設の整備 16.7	
【地域別】	大津地域 (N=806)	2.医療、介護等提供体制の整備 41.9	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 29.0	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 22.8	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 18.9	24.交通基盤や都市施設の整備 18.6
	湖南地域 (N=712)	2.医療、介護等提供体制の整備 41.6	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 28.7	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 23.6	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 18.3	24.交通基盤や都市施設の整備 18.0
	甲賀地域 (N=358)	2.医療、介護等提供体制の整備 38.5	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 38.0	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 26.3	18.地域を支える産業の育成 21.8	24.交通基盤や都市施設の整備 21.2
	東近江地域 (N=490)	2.医療、介護等提供体制の整備 53.1	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 35.9	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 22.4	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 22.0	14.人を育む学校、社会環境づくり 18.0
	湖東地域 (N=378)	2.医療、介護等提供体制の整備 52.4	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 30.7	3.食の安全と地産地消の推進 24.9	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 17.5	18.地域を支える産業の育成 14.8
	湖北地域 (N=388)	2.医療、介護等提供体制の整備 40.2	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 37.1	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 23.7	18.地域を支える産業の育成 23.2	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 22.2
	湖西地域 (N=140)	2.医療、介護等提供体制の整備 42.9	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 30.7	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 27.9	24.交通基盤や都市施設の整備 19.3	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 17.9

【性別】

男女とも「医療、介護等提供体制の整備」が1位、「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が2位となっている。

単位（％）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
【性別】	男性 (N=1566)	2.医療、介護等提供体制の整備 38.8	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 31.9	24.交通基盤や都市施設の整備 20.1	18.地域を支える産業の育成 18.9	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 18.8
	女性 (N=1656)	2.医療、介護等提供体制の整備 49.9	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 33.0	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 27.4	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 21.3	14.人を育む学校、社会環境づくり 16.6

【性・年代別】

男性の20・50歳代では「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が、それ以外の年代では「医療、介護等提供体制の整備」がそれぞれ1位となっている。「医療、介護等提供体制の整備」は、いずれの年代においても2位以内に入っている。

単位（％）

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	20歳代 (N=129)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 42.6	2.医療、介護等提供体制の整備 27.9	24.交通基盤や都市施設の整備 26.4	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 21.7	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 18.6
	30歳代 (N=224)	2.医療、介護等提供体制の整備 41.1	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 31.3	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 30.8	18.地域を支える産業の育成 21.4	24.交通基盤や都市施設の整備 21.4
	40歳代 (N=279)	2.医療、介護等提供体制の整備 39.1	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 31.2	24.交通基盤や都市施設の整備 24.7	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 21.1	17.競争力のある産業の育成 18.6
	50歳代 (N=311)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 42.4	2.医療、介護等提供体制の整備 37.6	18.地域を支える産業の育成 22.5	24.交通基盤や都市施設の整備 21.9	6.安全・快適な居住環境の整備 17.0
	60歳代 (N=394)	2.医療、介護等提供体制の整備 41.4	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 29.9	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 21.3	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 18.3	18.地域を支える産業の育成 18.0
	70歳以上 (N=223)	2.医療、介護等提供体制の整備 39.5	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 26.9	1.健康づくりと介護予防の推進 22.4	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 17.9	18.地域を支える産業の育成 17.5

女性の20歳代では「働きがいのある雇用・労働環境の創出」が、それ以外の年代では「医療、介護等提供体制の整備」がそれぞれ1位となっている。

単位 (%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
女性	20歳代 (N=176)	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 47.2	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 39.2	2.医療、介護等提供体制の整備 38.1	24.交通基盤や都市施設の整備 17.0	20.琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全 14.2
	30歳代 (N=314)	2.医療、介護等提供体制の整備 49.4	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 47.5	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 35.7	14.人を育む学校、社会環境づくり 27.7	24.交通基盤や都市施設の整備 16.9
	40歳代 (N=288)	2.医療、介護等提供体制の整備 55.9	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 28.8	14.人を育む学校、社会環境づくり 28.1	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 21.2	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 20.8
	50歳代 (N=339)	2.医療、介護等提供体制の整備 55.2	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 45.7	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 20.6	18.地域を支える産業の育成 18.9	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 18.0
	60歳代 (N=310)	2.医療、介護等提供体制の整備 47.4	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 30.3	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 24.5	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 22.3	3.食の安全と地産地消の推進 17.1
	70歳以上 (N=226)	2.医療、介護等提供体制の整備 47.8	7.誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり 35.4	1.健康づくりと介護予防の推進 28.8	13.子どもが健やかに育つ環境づくり 16.4	4.働きがいのある雇用・労働環境の創出 15.5

(5) 施策についての具体的項目

問9 問8で選ばれた県の施策について、あなたは、具体的にどのようなことを望まれますか。
問8で選ばれた3項目についてのみ、右の表の「具体的項目」の中からそれぞれ1つ選んでください。

全体の順位

最も力を入れてほしい県の具体的施策は、「総合的な就業支援の実施」で16.2%

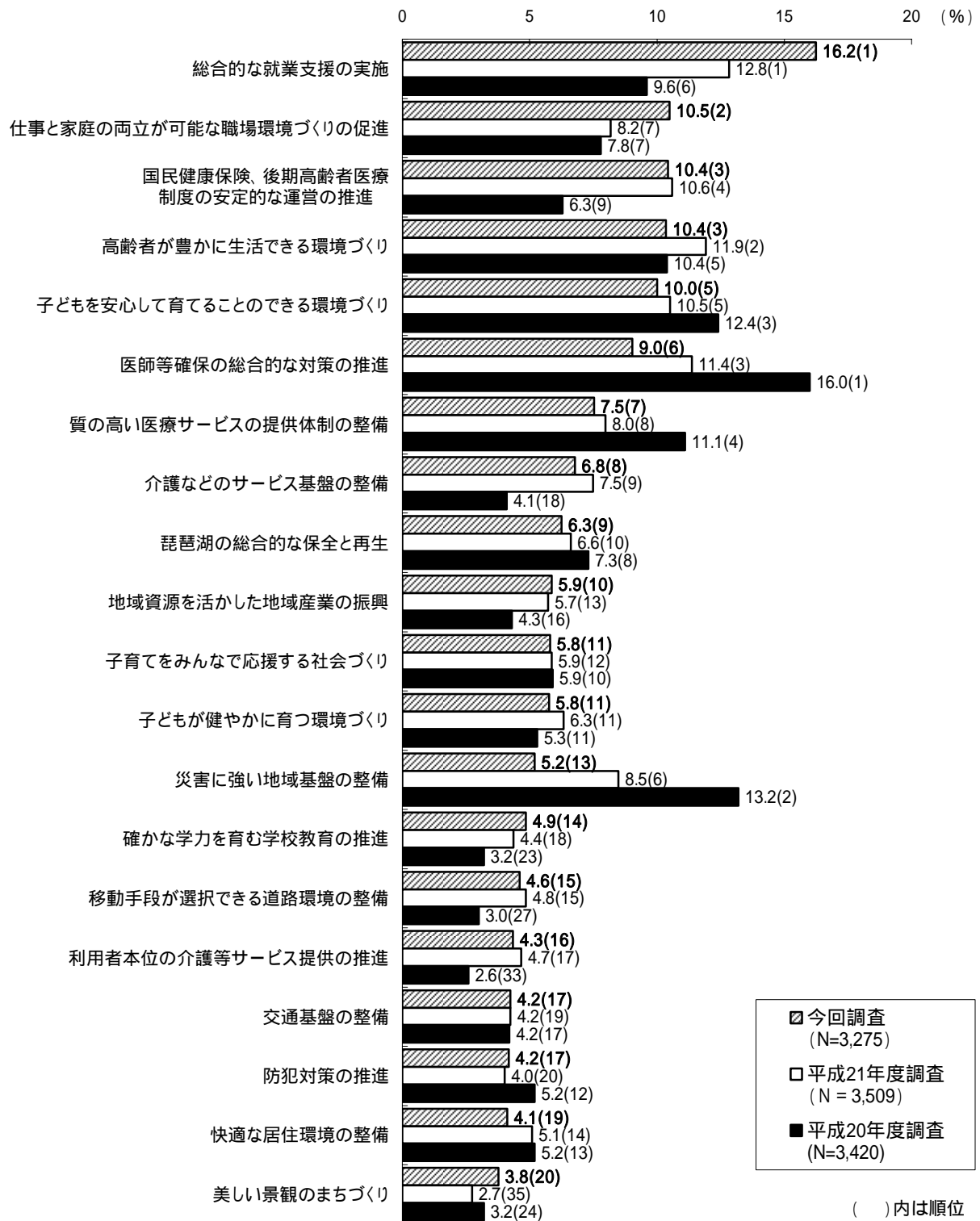
具体的項目の全117項目を高い順に並べてみると、「総合的な就業支援の実施」が最も高く16.2%となっている。以下、「仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりの促進」(10.5%)、「国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的な運営の推進」(10.4%)、「高齢者が豊かに生活できる環境づくり」(10.4%)、「子どもを安心して育てることのできる環境づくり」(10.0%)が続いている。

順位	項目	百分比(%)
1	総合的な就業支援の実施	16.2
2	仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりの促進	10.5
3	国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的な運営の推進	10.4
3	高齢者が豊かに生活できる環境づくり	10.4
5	子どもを安心して育てることのできる環境づくり	10.0
6	医師等確保の総合的な対策の推進	9.0
7	質の高い医療サービスの提供体制の整備	7.5
8	介護などのサービス基盤の整備	6.8
9	琵琶湖の総合的な保全と再生	6.3
10	地域資源を活かした地域産業の振興	5.9
11	子育てをみんなで応援する社会づくり	5.8
11	子どもが健やかに育つ環境づくり	5.8
13	災害に強い地域基盤の整備	5.2
14	確かな学力を育む学校教育の推進	4.9
15	移動手段が選択できる道路環境の整備	4.6
16	利用者本位の介護等サービス提供の推進	4.3
17	交通基盤の整備	4.2
17	防犯対策の推進	4.2
19	快適な居住環境の整備	4.1
20	美しい景観のまちづくり	3.8
21	歴史や自然を活かした観光産業の展開	3.6
22	商業の振興	3.5
22	地球温暖化防止対策の推進	3.5
24	県民主導の介護予防の推進	3.4
25	地産地消の取組推進	3.2
26	企業誘致の推進	2.8
26	障害のある人が地域で暮らし、働き、活動できる環境づくり	2.8
28	活力と魅力に満ちた農業、林業、水産業の振興	2.7
28	国道・県道の整備	2.7
30	安全な交通環境の整備	2.4
30	農業の多面的機能の発揮	2.4
32	健康づくりへの支援	2.3
32	安全快適に利用できる道路整備	2.3
32	楽しく学校生活を送れる環境づくり	2.3
35	災害への備えある地域づくり	2.2
35	個性を活かした活力ある地域づくりの推進	2.2
37	環境重視と県民協働による川づくり・森林づくりの推進	2.0
37	人権尊重の社会づくり	2.0
39	低所得世帯等の自立支援	1.9
39	総合的・計画的な土地利用の推進	1.9
39	より安全な農畜水産物の生産の推進	1.9
39	食品や水道水の安全確保と生活衛生の向上	1.9
39	有害鳥獣対策の推進	1.9
44	地域共生の仕組みづくり	1.8
45	野生動植物の保護	1.7
45	省資源・資源循環の推進	1.7
45	森林の多面的機能の発揮	1.7
48	青少年の健全育成	1.6
48	農業の担い手の育成	1.6
48	防災対策の推進	1.6
48	子どもの地域における体験の場づくり	1.6
48	個性豊かな文化の創造	1.6
53	高等教育機関の充実と活用	1.5
54	成長産業分野の育成	1.4
55	土砂災害対策の推進	1.3
55	子どもから大人まで生涯にわたる食育の推進	1.3
57	地域の力を活かした学校教育の推進	1.2
57	健全な環境の確保	1.2
57	琵琶湖の生態系の修復	1.2
57	生涯学習の推進	1.2

順位	項目	百分比(%)
57	新事業創出に向けた環境づくりの推進	1.2
62	地域のつながりの強化・充実	1.1
63	伝統産業の振興	1.0
63	競争力の強化に向けた技術・経営人材の育成	1.0
63	職業能力開発の推進	1.0
63	外国人と地域住民が共に暮らす地域づくりの推進	1.0
63	農業水産業の新たな展開	1.0
63	総合的な治水対策の推進	1.0
63	高齢者の尊厳の保持	1.0
63	情報通信基盤の確立	1.0
71	性別に関わりなく多様な選択ができる社会づくり	0.9
71	特別支援教育の推進	0.9
71	都市施設の整備	0.9
71	持続可能な滋賀社会づくりの推進	0.9
75	うつ・自殺対策の推進	0.8
75	感染症・難病対策の推進	0.8
75	魅力ある農山村空間の創造	0.8
78	技術開発等による競争力の強化	0.7
78	学校における体験活動の促進	0.7
80	安全確保に向けた施設整備等の推進	0.6
80	安心して通学できる道路環境整備	0.6
80	農村における人と人の絆の向上	0.6
80	消費者の保護・育成	0.6
80	健康スポーツの振興	0.6
80	琵琶湖のレジャー利用の適正化	0.6
80	農山村基盤の整備	0.6
87	キャリア教育の推進	0.5
87	自主防災活動の促進	0.5
87	環境こだわり農業の一層の拡大	0.5
87	みどりを守り育てる林業の振興	0.5
87	運動に親しみ、体力の向上を目指す教育の推進	0.5
87	リハビリテーション提供体制の整備	0.5
87	文化資産の活用	0.5
87	生涯を通じた歯の健康づくり	0.5
87	高等教育機関における専門性の高い人材育成	0.5
87	人と動物のよりよい関係づくりの推進	0.5
87	協働によるまちづくり	0.5
87	生物の多様性に配慮した自然公園の適正な管理	0.5
99	スポーツの総合的な振興	0.4
99	子どもの読書活動の推進	0.4
99	琵琶湖への面源からの流入負荷削減対策	0.4
99	情報通信技術の活用	0.4
99	科学技術の振興	0.4
99	農村の健全な水循環の確立	0.4
99	環境への負荷が少ない移動手段への転換	0.4
99	都市浸水の防止	0.4
107	ユニバーサルデザインのまちづくり	0.3
107	文化資産の保存	0.3
107	環境学習の推進	0.3
110	歴史的な文書および資料の活用	0.2
110	林業の担い手の確保・育成	0.2
110	県民の社会貢献活動の促進	0.2
110	私学教育の振興	0.2
110	つくり育てる水産業の振興	0.2
110	環境コミュニケーションの推進	0.2
116	農業水利施設のストックマネジメントの推進	0.1
117	下水道の効果的・効率的な整備	0.0

規定標本数(総数)	3,275
-----------	-------

上位 20 項目について平成 21 年度調査と比較すると、「総合的な就業支援の実施」が前回調査と同様 1 位となり、3.4 ポイント高くなっている。また、「仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりの促進」が 2.3 ポイント高くなり 7 位から 2 位に、「医師等確保の総合的な対策の推進」が 2.4 ポイント低くなり 3 位から 6 位に移行している。



暮らし分野について

問8の暮らし分野の中で要望の最も高かった「医療、介護等提供体制の整備」の具体的項目では、「国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的な運営の推進」が10.4%で最も高く、以下、「医師等確保の総合的な対策の推進」(9.0%)が続いている。また、問8で「医療、介護等提供体制の整備」に次いで要望の高かった「働きがいのある雇用・労働環境の創出」の具体的項目では、「総合的な就業支援の実施」が16.2%で最も高く、以下、「仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりの促進」(10.5%)が続いている。

また、暮らし分野全体についてみると、「総合的な就業支援の実施」が16.2%で最も高く、以下、「仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりの促進」(10.5%)、「国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的な運営の推進」、「高齢者が豊かに生活できる環境づくり」(10.4%)の順となっている。

【地域別】

「医療、介護等の提供体制の整備」の具体的項目についてみると、大津・湖南地域では「国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的な運営の推進」が、その他の地域では「医師等確保の総合的な対策の推進」が最も高くなっている。

また、「働きがいのある雇用・労働環境の創出」の具体的項目では、いずれの地域においても「総合的な就業支援の実施」が最も高くなっている。

【性別】

「医療、介護等提供体制の整備」の具体的項目では、男女とも「国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的な運営の推進」が最も高く、男性(9.3%)に比べ女性(11.5%)の方が2.2ポイント高くなっている。

「働きがいのある雇用・労働環境の創出」の具体的項目では、男女とも「総合的な就業支援の実施」が最も高く、男性(17.6%)に比べ女性(15.3%)の方が2.3ポイント低くなっている。

【性・年代別】

「医療、介護等提供体制の整備」の具体的項目では、男性の20歳代では「質の高い医療サービスの提供体制の整備」、男性の40歳代では「質の高い医療サービスの提供体制の整備」、「医師等確保の総合的な対策の推進」が同率、男性の30歳代、女性の20～40歳代では「医師等確保の総合的な対策の推進」、男性の60歳代、70歳以上、女性の60歳代、70歳以上では「国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的な運営の推進」、男性の50歳代では「介護などのサービス基盤の整備」、女性の50歳代では「国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的な運営の推進」、「介護などのサービス基盤の整備」が同率と、それぞれ最も高い。

「働きがいのある雇用・労働環境の創出」の具体的項目では、男性の70歳以上、女性の20～30歳代、70歳以上では「仕事と家庭の両立が可能な職場環境づくりの促進」が最も高くなっており、それ以外は「総合的な就業支援の実施」が最も高い。

経済・産業分野について

問8の経済・産業分野の中で要望の最も高かった「地域を支える産業の育成」の具体的項目では、「地域資源を活かした地域産業の振興」が5.9%と最も高く、以下、「歴史や自然を活かした観光産業の展開」(3.6%)、「商業の振興」(3.5%)の順となっている。

【地域別】

湖東地域は「商業の振興」が、湖西地域は「地域資源を活かした地域産業の振興」、「商業の振興」が同率で最も高く、それ以外の地域では「地域資源を活かした地域産業の振興」がそれぞれ最も高く、湖北地域で10.8%と他の地域に比べ高い傾向がみられる。

【性別】

男女とも「地域資源を活かした地域産業の振興」が最も高く、男性(6.8%)に比べ女性(4.8%)の方が2.0ポイント低くなっている。

【性・年代別】

男性の30・40歳代では「商業の振興」が、男性の70歳以上では「歴史や自然を活かした観光産業の展開」が、女性の20歳代では「地域資源を活かした地域産業の振興」、「歴史や自然を活かした観光産業の展開」が同率で最も高い。それ以外では「地域資源を活かした地域産業の振興」が最も高くなっている。

環境分野について

問8の環境分野の中で要望の最も高かった「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」の具体的項目では、「琵琶湖の総合的な保全と再生」が6.3%で最も高く、以下、「環境重視と県民協働による川づくり・森林づくりの推進」(2.0%)、「健全な環境の確保」(1.2%)の順となっている。

環境分野全体で見ると、「琵琶湖の総合的な保全と再生」に続き、「地球温暖化防止対策の推進」(3.5%)が次いで高くなっている。

【地域別】

「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」の具体的項目についてみると、いずれの地域においても「琵琶湖の総合的な保全と再生」が最も高く、大津地域で9.9%と他の地域に比べ高い傾向がみられる。

【性別】

「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」の具体的項目では、男女とも「琵琶湖の総合的な保全と再生」が最も高く、男性が6.3%、女性6.4%とその差は僅差となっている。

【性・年代別】

「琵琶湖の総合保全をはじめとした自然環境の保全」の具体的項目では、男性の30歳代では「琵琶湖の総合的な保全と再生」、「環境重視と県民協働による川づくり・森林づくりの推進」が同率で最も高く、それ以外ではいずれも「琵琶湖の総合的な保全と再生」が最も高くなっている。

県土分野について

問8の県土分野の中で要望の最も高かった「交通基盤や都市施設の整備」の具体的項目では、「移動手段が選択できる道路環境の整備」が4.6%と最も高く、以下、「交通基盤の整備」(4.2%)、「国道・県道の整備」(2.7%)の順となっている。

県土分野全体では、「災害に強い地域基盤の整備」が5.2%で最も高くなっている。

【地域別】

「交通基盤や都市施設の整備」の具体的項目についてみると、甲賀・東近江・湖西地域では「交通基盤の整備」が、大津・湖南・湖東・湖北地域では「移動手段が選択できる道路環境の整備」がそれぞれ最も高い。

【性別】

「交通基盤や都市施設の整備」の具体的項目では、男性では「交通基盤の整備」が、女性では「移動手段が選択できる道路環境の整備」がそれぞれ最も高くなっている。

【性・年代別】

「交通基盤や都市施設の整備」の具体的項目についてみると、男性の20・40・50歳代、70歳以上、女性の40歳代では「交通基盤の整備」が、男性の60歳代では「国道・県道の整備」が、男性の30歳代、女性の20・30歳代、50・60歳代では「移動手段が選択できる道路環境の整備」がそれぞれ最も高くなっている。また、女性の70歳以上では「交通基盤の整備」、「移動手段が選択できる道路環境の整備」、「都市施設の整備」、「総合的・計画的な土地利用の推進」が同率で最も高い。